

～各種健康診査のお知らせ～

R6年
4月1日
から

脳ドック及び肺ドックの名称変更について

令和6年4月から半日ドックオプションの脳ドック及び肺ドックの名称が、それぞれ脳検査、肺検査に変わりました。(名称の変更のみで契約項目はこれまでと同じです。) なお、脳検査及び肺検査は、指定医療機関ごとに実施されている項目が異なりますので、検査内容は、直接、指定医療機関へお問い合わせいただくか、健診冊子「令和6年度職別国保各種健康診査のご案内」(35歳以上に6月末配付)をご覧ください。

半日ドック、脳検査及び肺検査の自己負担額の改定について

令和6年4月から半日ドック、脳検査及び肺検査の自己負担額が変わりました。これまでは、どの指定医療機関で受診していただいても定額による負担としていましたが、近年、指定医療機関により契約単価が大きく異なってきたため、契約単価に応じた自己負担額に改定したものです。指定医療機関ごとの自己負担額は以下のとおりです。

医療機関名	半日ドック	脳検査	肺検査
シミズ四条大宮クリニック	12,000円	13,000円	—
洛西シミズ病院	12,000円	13,000円	—
京都微生物研究所	12,000円	—	—
明治国際医療大学附属病院	13,000円	13,000円	4,000円
京都桂病院	15,000円	10,000円	—
大島病院	15,000円	10,000円	—
堀川病院	15,000円	12,000円	6,000円
京都鞍馬口医療センター	15,000円	12,000円	9,000円
京都工場保健会	15,000円	14,000円	6,000円
武田病院健診センター	15,000円	15,000円	5,000円
大和健診センター	15,000円	15,000円	—
京都田辺中央病院	15,000円	15,000円	—
太子道診療所	15,000円	—	5,000円
中央診療所	15,000円	—	—
京都ルネス病院	16,000円	9,000円	5,000円
蘇生会総合病院	16,000円	11,000円	7,000円
済生会滋賀県病院	16,000円	12,000円	6,000円
京都岡本記念病院	16,000円	12,000円	8,000円

医療機関名	半日ドック	脳検査	肺検査
京都きづ川病院	16,000円	12,000円	—
御池クリニック	16,000円	13,000円	11,000円
御池クリニックレディースプラザ	16,000円	13,000円	11,000円
京都第一赤十字病院	16,000円	13,000円	13,000円
京都第二赤十字病院	16,000円	14,000円	—
音羽病院	16,000円	15,000円	12,000円
四条烏丸クリニック	16,000円	—	—
京都南病院	16,000円	—	—
京都済生会病院	16,000円	—	—
京都中部総合医療センター	16,000円	—	—
舞鶴共済病院	17,000円	12,000円	7,000円
丹後中央病院	17,000円	12,000円	7,000円
市立福知山市民病院	17,000円	12,000円	—
綾部市立病院	17,000円	13,000円	—
舞鶴赤十字病院	17,000円	15,000円	—
京都市立病院	17,000円	—	—
京都予防医学センター	18,000円	—	—
京都山城総合医療センター	18,000円	—	—

※医療機関の所在地、電話番号等は、職別国保又は各医療機関のホームページをご参照ください。

(税込)

※一印は当組合との契約なし。

前立腺がん検査、乳がん検査、子宮がん検査の自己負担額の改定について

令和6年4月から半日ドックオプションの前立腺がん検査、乳がん検査及び子宮がん検査を追加される場合の自己負担額が、それぞれ1,000円に変わりました。



生活習慣病健診

を受けましょう

お知らせ ジャスト健診（無料）のご案内

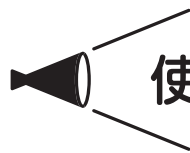
本年度に40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢に到達される被保険者は、ジャスト健診の対象者として、当組合の健康診査（半日ドック、一般健診、定期健診又はレディース健診）を無料でお受けいただくことができます。健診費用は職別国保が全額負担しますので、是非この機会にご受診ください。

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）にジャスト健診の対象となられる方は次のとおりです。

40歳……昭和59年4月1日～昭和60年3月31日生まれ
 50歳……昭和49年4月1日～昭和50年3月31日生まれ
 60歳……昭和39年4月1日～昭和40年3月31日生まれ
 70歳……昭和29年4月1日～昭和30年3月31日生まれ

注意

対象の方は必ず令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）中に受診していただく必要があります。



使いましょう!! ジェネリック医薬品



国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたもののだけが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

医療費を有効活用

個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。